

## 第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画中間まとめ(案)

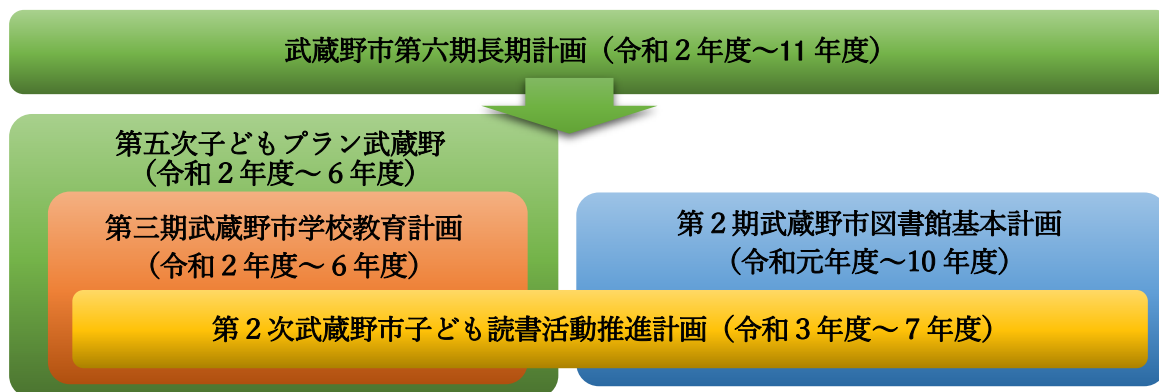
概要版  
武蔵野市教育委員会

## 計画策定の背景

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本市は、平成23年に子どもの読書活動推進計画を策定し、図書館や学校を中心に取組みを進めてきました。しかしこの間も、共働き家庭の増加や核家族化、インターネットやスマートフォンの普及等により、子どもの読書環境は変化を続けています。この変化を踏まえ、これまでの取組みを改めて整理、体系化し、関係機関が連携して本市における子どもの読書環境を整備していくため、第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画を策定することとしました。

## 計画の位置付けと計画期間

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づく計画であるとともに、本市の最上位計画である武蔵野市第六期長期計画と、第五次子どもプラン武蔵野、第三期武蔵野市学校教育計画、第2期武蔵野市図書館基本計画を踏まえ、令和3年度～7年度を計画期間として、子ども読書活動を推進するために取組む事業を記載するものです。



## 現状と課題

- 家庭における乳幼児期の読書環境の違い  
→子ども読書活動に関心が薄い、活動が難しい家庭・保護者への啓発、支援
- ヤングアダルト世代の読書離れ  
→この世代の興味関心に寄り添う形でのアプローチによる読書支援
- 子どもたちへのインターネット、スマートフォンの急速な普及  
→中学生の8割以上がインターネットで調べものをしており、情報リテラシーの育成
- 学校図書館に求められる「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能  
→図鑑や新聞など、小説や物語に偏らない図書資料の選書と蔵書の充実
- 学校図書館を支える人的配置の不足  
→教員との連携強化、放課後や昼休みの図書館開放等に必要な学校図書館人員配置の強化
- 子ども読書活動の関係機関間のネットワーク不足  
→図書館と各施設の1対1の関係性ではない、図書館をハブとした関係機関間のネットワークづくり
- 子どもの読書活動に関わる人材の拡大  
→幼稚園・保育園、子ども施設、学校図書館、市立図書館など子どもと読書を橋渡しする人材育成

## 基本理念

子どもたちが、読書を通じて、

豊かな心を培い、自ら学ぶ力を身に付けることで、生きる力を育む

## 「読書」のとらえ方

絵本、昔話、文学などが物語る日常や空想の出来事に心を躍らせることに加え、個々の知的好奇心を満たすために科学読み物や図鑑、事典などから知識を得ることも広く読書ととらえる。これらの媒体は、紙の書籍に限らず、電子書籍やインターネット情報も含む。

## 基本方針

### ■ 読書習慣を身に付け、豊かな心を培う

本を読んでもくれるあたたかい声に安心と喜びを感じる幼い子どもの時間、ストーリーを追いかけて次々にページをめくりワクワクする経験、本の世界から幅広い考え方を知り多感な時期に深く思考すること、いずれも子ども成長に欠かせないものです。これらの経験から読書の喜びを知ることによって読書習慣が身に付き、それは子どもの感性を磨き、表現力と想像力を養い、その後の人生を心豊かに生きていくための財産になります。これらの経験を、年齢に応じてすべての子どもが得られるよう支援していきます。

### ■ 「楽しむ読書」「調べる読書」を通じて自ら学ぶ力を身に付ける

絵本や文学の世界に心を躍らせる、あるいは大好きなジャンルの図鑑に熱中する読書がある一方で、分からない事象に出会い疑問を感じて本を開き、調べ、得た情報を活用する読書もあります。いずれも子ども時代に身に付けるべき大切な読書と言えます。発達段階や子どもの性格により、そのどちらかに偏る時期はありますが、読書の幅を広げ、様々な本と出会い、興味や関心が広がることで、子どもが自ら学ぶ力を身に付けられるよう支援していきます。

### ■ 情報を適切に収集し、活用できる力を育む

昨今、情報は既存のメディアに加え、インターネット上に溢れ出しており、調べものの多くはインターネットを活用したものとなりつつあります。目的に応じて本やインターネットなど多様な情報媒体を使い分けられる能力、探している情報を見つけ出し活用する能力といったリテラシーを身に付けることは、これからの子どもたちにとって必須のものとなります。子どもの年齢、発達に合わせて、この能力を段階的に身に付けられるよう支援していきます。

## 施策の体系と主な取組

### 1. すべての子どもの発達段階に応じた読書活動支援

#### 乳幼児期における取組

本を通して、親子等がふれあいを持つこと、本に親しむことを目指します。

- 保護者向け読み聞かせ講座（家読）
- 市立図書館を家族で楽しめる「ファミリーデー」開催
- 幼稚園・保育園等の団体カード作成

#### 小中学生への取組

本が好きという気持ちと読書習慣が身に付けられることを基盤に、主体的・対話的で深い学びにつながっていく取組みを目指します。

- 学校図書館の充実（蔵書の充実、新聞配備、学校図書館開館時間確保）、
- 市立図書館での情報活用講座、

#### 青少年への取組

具体的な課題、自分自身の将来展望に関する知識や情報など、この世代の興味関心に応えるアプローチをします。

- この世代独自の文化や興味に応える選書、
- 実体験と本との出会いを連動させるワークショップ、

### 2. 市立図書館と学校、関係機関の連携による推進

#### 関係機関間の情報共有、連携体制の構築と強化

市立図書館を中心に関係機関による連絡会等を設置し、情報や課題の共有、事業連携、取組みの推進を図ります。

- 関係機関連絡会の設置
- 子ども施設のイベント等への出張お話し会や情報提供
- 読書の動機づけ指導

### 3. 子どもの読書活動に関わる人材の育成・支援体制強化

#### 子どもの読書に関わる人材育成、相談支援

取組みの推進には、子どもと本をつなぐ人の存在が欠かせません。子どもの読書に関わる人材の知識や技術の向上、情報共有を図ります。

- 図書館児童サービス担当職員の育成と配置、
- 保育園・幼稚園・子ども園等の職員向けの講演会や研修会等の開催、など

#### 学校図書館の人的配置や人材育成の充実

今後ますます重要な役割を担う学校図書館において、人的配置、人材育成の充実を図っていきます。

- 学校図書館サポーターへの研修体制充実、など